

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525
<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html>

最低限の学力（学力保障）を身に付けるためには、家庭との連携が何よりも大切です

本年度の調査結果

○9月議会でも報告しましたが、当町では5教科において、小学校では1教科が全国平均以上、4教科が全国平均にあと一步、中学校では5教科が全国平均にあと一步となるなど、全体的に小・中学校共に経年変化からも、これまでの取組の成果が出てきています。

○なぜ当町でこのことを進めるかは、社会に役立つため、最低限の学力を身に付けさせることが、今日、必要不可欠と考えるからです。

○12月26日には、本年度の反省を含め町内の先生方が一堂に会してPTAの皆さんと一緒に話し合いを深める予定です。

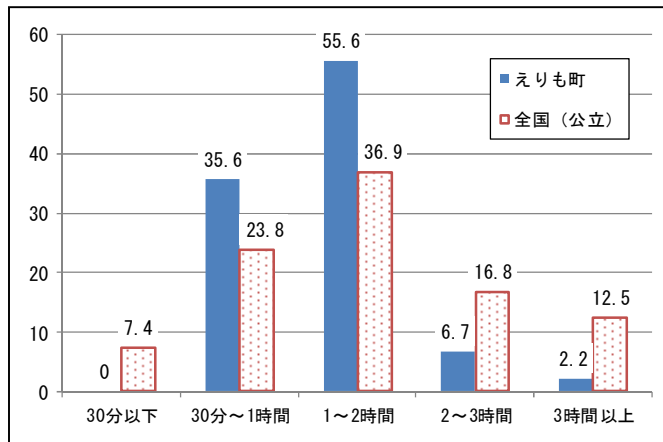
家庭学習の重要性

○人間は、覚えたものは時間が経つと忘れるもの。そのため、学んだことを家庭でも振り返り、繰り返し学び深める必要があります。

○次の調査は『学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）』のアンケート結果です。この調査からも課題が見えます。

家庭環境が学力に与える影響

Q 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しているか



○小学6年生の目標時間は70分以上の学習時間が目標です。

○当町の児童は、30分から2時間以内の学習時間が多く、2時間以上が少ない、反面、まったくしていない児童も少ない結果が出ています。

○一方、『家で学校の授業の予習・復習をしていますか』では、全国に比べて（当てはまる～全国27.7%に対し、当町は64.4%）極めて高い。このことから、量と質を見直していくことが必要です。求められることは、主に

- ①規則的な生活習慣を身に付けること
- ②非認知スキル（自制心や意欲、忍耐力等）を高める働きかけ
- ③知的好奇心の刺激
- ④しっかりとした家庭学習
- ⑤児童同士の会話がどうか家庭でも振り返ってみてください。

笛舞小で一日防災地域学校を実施



○えりも小、庶野小に続いて、笛舞小学校が1日防災地域学校を9月12日に行いました。

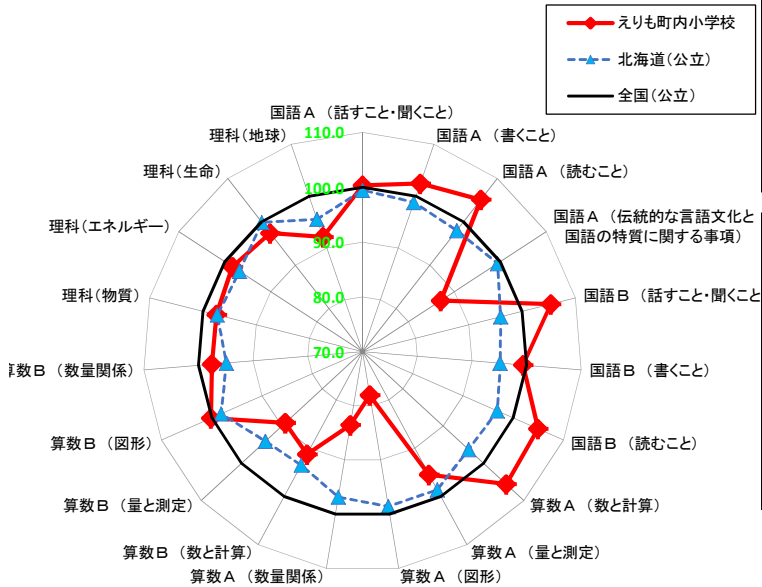
○内容は避難訓練と体験学習を中心に、給食時には災害食に関する講話と試食を行いました。特に、体験学習では、新聞スリッパづくりと段ボールベットを地域の方々と一緒に作り、実際に寝てみて寝心地を味わいました。10月16日にはえりも岬小でも実施されました。



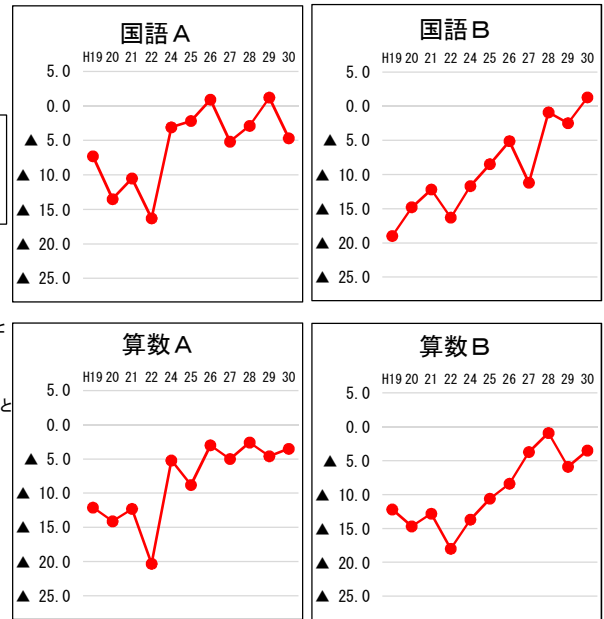
■えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:45人)

【教科全体の状況】

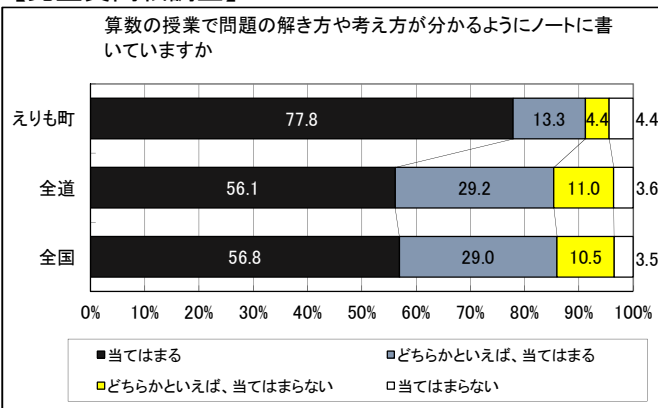
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



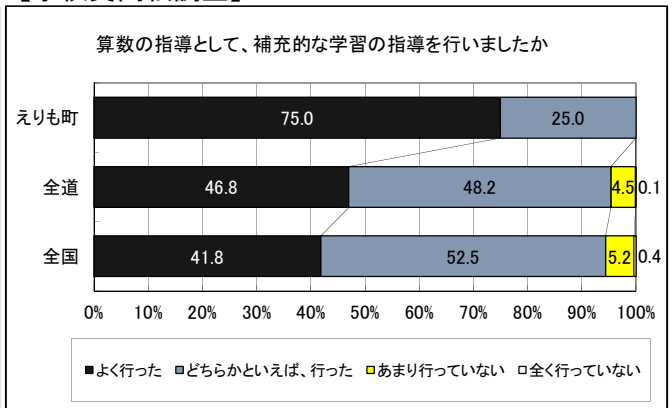
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「エネルギー」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行い、個に応じた指導の充実を図った。また、板書構造を工夫し、板書と関連付けたノート指導の充実により、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての小学校で、えりも町授業改善4つの方策を踏まえ、ノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導するなど、授業改善を推進したことにより、国語の5領域及び算数の2領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【えりも町の学力向上策】

- ◎ えりも町授業改善の方策(学習規律の確立、板書とノートの連動、まとめの位置付け、家庭学習の習慣化)による授業改善
- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善
- ◎ 「続・凡事徹底」による数値目標を形骸化しない日常の授業における指導の充実
- ◎ 実物投影機等ICT機器の日常的な活用による授業改善
- ◎ 小・中・高の連携・接続を意識したキャリア教育の充実